

2022年度 つむぎ 駒沢ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	Q2 入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	3.0	これからも清潔で整理整頓された、皆様に気持ちよくご利用いただけるルームであるように努めてまいります。
	Q3 職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	1.8	欠勤等でスタッフが抜けてしまうこともありますが、支援の質が下がることがないよう努めると共に、配置数も増やせるよう努めてまいります。
	Q4 業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.6	スタッフが十分な休憩や休暇を取れることは支援の質に大きく影響いたしますので、常に業務の効率化や適切な配分などを図り、スタッフ一人一人が休憩や休暇を取れるよう努めてまいります。
	Q5 ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		現在は人員が十分に配置されているという状態ではありませんが、その分、スタッフ一同が情報を共有し、業務の効率化や改善を図り、質の高い支援が提供できるよう努めてまいります。
業務改善について	Q6 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	2.8	今後も朝礼や終礼、毎週水曜日の会議を通して日々の情報や振り返りを共有し、業務改善を図れるよう努めてまいります。
	Q7 保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	3.6	利用者アンケートでは毎回、貴重なご意見を頂戴しております。いただいたご意見に対してスタッフ一同で話し合いを行い、改善してまいります。
	Q8 この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	3.8	ルーム内に掲示のほか、ホームページで公開しております。
	Q9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.8	年に一回、世田谷区による巡回訪問を受け、いただいた助言について改善に努めております。
	Q10 職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	2.2	法人では、子育てスキル講座をはじめ様々な研修機会が用意されております。スタッフは各自の興味や関心、課題に応じた学び計画を立て、こうした研修や外部研修に参加し、専門知識や技術の修得に努めてまいります。
	Q11 業務改善について、ご意見をお聞かせください。		現在は人員が十分に配置されているという状態ではありませんが、その分、スタッフ一同が情報を共有し、業務の効率化や改善を図り、質の高い支援が提供できるよう努めてまいります。
適切な支援の提供について	Q12 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.2	法人全体で共通したアセスメントツールを使用しております。
	Q13 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	3.8	アセスメント後、策定会議を行った上で個別支援計画を作成しております。
	Q14 グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	3.0	グループ活動、個別支援ともに6か月ごとに支援目標を立てておりますが、お子さまの成長の具合に合わせて柔軟に変更し、成長を促えやすくなるための目標設定を加えるなど、努めてまいります。
	Q15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2.8	今後も大人が決めたプログラムを強いるのではなく、「お子さまがやりたいこと」を中心に据えた支援を行ってまいります。
	Q16 プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	3.0	支援前に必ずプログラム内容について打ち合わせするとともに、お子さまの様子によって臨機応変に対応できるよう、スタッフ間で役割分担や支援目標について確認しております。
	Q17 支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	3.8	毎支援後には、スタッフ間で支援の振り返りを行い、一人一人の小さな成長にも気付けるようスタッフ間で共有しております。また、関わり方や支援の仕方のについても共通の対応ができるよう話しています。
	Q18 日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	3.4	支援内容や保護者様とお話した内容は正しく記録し、その後の支援へと繋げていけるよう今後も努めてまいります。
	Q19 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	3.4	6か月に一度定期的にモニタリングを行い、適用期間内に次期の個別支援計画を提示できるよう今後も努めてまいります。
	Q20 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	3.2	児童発達支援ガイドラインに従い、活動を複数組み合わせることで支援を行うよう今後も努めてまいります。
	Q21 適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		スタッフが互いに学び高め合えるようルーム内研修などを行い、また、個人が積極的にスキルアップ講座や外部研修に参加するなど、より質の高い支援が提供できる個人でありルームであるよう、努めてまいります。
	保護者との関係構築について	Q22 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3.2
Q23 所属の幼稚園や保育園などと連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。		3.2	今年度はコロナウィルスの影響もあり、園連携を図ることが難しい状況となりました。今後状況が落ち着き次第、保護者様へ関係機関連携加算の制度を説明し、所属園との連携を提案してまいります。
Q24 児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に務めているか。		3.2	就学先や放課後の過ごしに悩む保護者様の為にも、地域の放課後等デイサービスとの情報を集めていきたいと思っております。
Q25 児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。		3.2	今後も地域の児童発達支援センターや児童発達支援事業所と連携し、情報共有をしてまいります。

保護者との関係機関について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	1.8	今後も地域の児童発達支援センターや児童発達支援事業所と連携し、情報共有をしてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.0	児童発達支援事業のみに限らず、近隣の事業所や店舗等とも積極的に関わりを持っていくよう取り組んでまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.0	保育園併設という環境を活かし、子ども同士がお互いに成長しあう機会を今後もより一層提供できるよう努めてまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	2.8	地域におけるイベントはコロナウイルスの影響もあり実施出来ておりません。今後の課題として取り組んでまいります。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	3.6	通常は振り返りの時間に保護者様からのご相談にも応じておりますが、まとまった時間での相談を希望される場合、「事業所内相談支援加算」という制度を利用し、30分程度の面談をすることができます。ご希望の場合はご相談ください。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		現在は人員が十分に配置されておらず関係機関と密な連携を図れておりませんが、今後の課題として取り組んでまいります。
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	3.8	契約時には、安心してご利用いただけるよう、分かりやすく説明するようスタッフ一同心掛けております。利用開始後も、ご不明な点がございましたらお気軽にお尋ねください。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3.8	通常は振り返りの時間に保護者様からのご相談にも応じておりますが、まとまった時間での相談を希望される場合、「事業所内相談支援加算」という制度を利用し、30分程度の面談をすることができます。ご希望の場合はご相談ください。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	3.0	つむぎカフェを利用いただき、保護者様同士が気軽に話せる環境作りをしております。コロナウイルスの影響で開催できなかったOB保護者様を招待しての懇談会も、今後状況を鑑みて、企画検討してまいります。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.0	お寄せいただいたご意見などはその日のうちに全スタッフで共有し、迅速に対応するよう努めております。気になることなどございましたら、いつでもお伝えください。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	4.0	告知に関しては主に配布文書で行っています。告知に関してご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にお声がけください。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.0	今後も日々の対応を振り返りながら、誰にでも伝わりやすい意思疎通ができるよう努めてまいります。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	3.4	パソコンはスタッフ各個人のログインIDとパスワードがあり、他者は開くことができない仕様となっております。また、個人記録ファイルは鍵付きの書庫で厳重に保管しております。今後も個人情報の取り扱いには十分注意してまいります。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	2.4	朝礼や終礼、毎週水曜日の会議を通して、日々の情報や振り返りを行っております。今後もスタッフ同士の連携、情報共有に努めてまいります。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		とても多くのご支持をいただきましたこと、大変嬉しく思います。今後も質の高い支援を提供できますよう、スタッフ一同努めてまいります。
	非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	2.6
Q42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.0	月一回、併設保育園と合同で、様々な状況を想定して訓練を行っております。
Q43		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	2.6	今後県主催の虐待防止研修に参加していき、スタッフ間で意識を高めてまいります。
Q44		ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.6	毎日朝礼、終礼時にヒヤリハットの有無を共有し、危険な場面の想定や事故に繋がらないよう対策の検討、スタッフの安全に対する意識を高めるように努めております。
Q45		非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		法人共通の災害対応マニュアルがございますので、スタッフ間で定期的に読み合わせやロールプレイを行うなど、いざという時に適切な対応ができるよう努めてまいります。
満足度について	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	3.8	「つむぎが大好きみたいです」というお声を多数いただくことができ、スタッフ一同嬉しく思います。これからも、お子さまの「やりたい」「遊びたい」という気持ちを大切に、よりつむぎを好きになってもらえるような支援をご提供できるよう努めてまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することができるか。	4.0	今後とも、ご家庭とつむぎとでお子さまの成長と一緒に感じたいよう、日々の様子や成長を共有させていただきたいと思っております。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		多くのご支持をいただきましたこと、大変嬉しく思います。スタッフ一同これからも、業務の効率化や改善を図り、質の高い支援が提供できるよう努めてまいります。

アンケート実施期間:2022年8月12日~9月5日

全回答数 : 5

つむぎ 駒沢ルーム
施設長 田川 信政